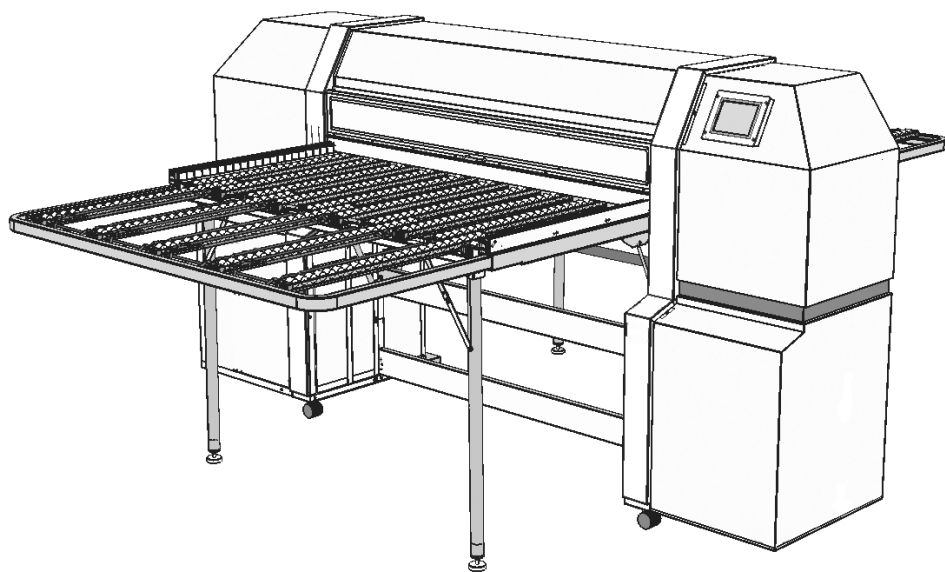


HP Designjet H35000/H45000 プリンタ シリーズ  
設置ガイド



# 新規に購入したプリンタの設置

このガイドの説明に従って、プリンタ設置場所の準備をしてください。

## 電力

プリンタを設置する前に、資格を持つ電気技術者が、必要な電気回路を設置する必要があります (4 ページの表 2「仕様」を参照)。プリンタには電源ケーブルが付属しています。この電源ケーブルを延長したり、延長コードに接続したりしないでください。

プリンタに付属の AC 電源は、清潔に保ち、一定の電圧と周波数に保つ必要があります。電圧の低下、停電、または電圧の急激な変化に見舞われる可能性がある場合、プリンタに接続している AC 電源が常に規定範囲に保たれるように、Hewlett-Packard では予備発電装置、または無停電電源装置 (UPS) の使用をお勧めしています。UPS は、電圧幅 200 ~ 240VAC、50/60Hz、最大定格電流 12A で、最小 3000VA の供給が可能な 3 相 UPS である必要があります。UPS には適切なプラグとレセプタクルが必要です (詳細については、次の仕様を参照してください)。UPS を壁の電源コンセントに接続し、プリンタの電源コードを UPS に接続します。

---

**注意** 壁コンセントはプリンタのそばに設置して、利用しやすくします。

---

## プリンタの受け取り

プリンタを受け取って設置場所まで移動させる計画を立てる際は、次の寸法と重量を参照してください。

**表 1**: 運搬時の寸法と重量

高さ	168cm
奥行き	91cm
幅	297cm
重量	406kg

設置場所に十分な空きスペースがない場合は、受け取り場所で梱包を解いてプリンタを組み立て、運搬用キャスターに乗せて設置場所に移動します。設置場所に十分な空きスペースがある場合は、梱包を解かないまま設置場所まで移動し、設置場所で梱包を解いてプリンタを組み立てます。

プリンタは、平らで安定した場所に設置してください。

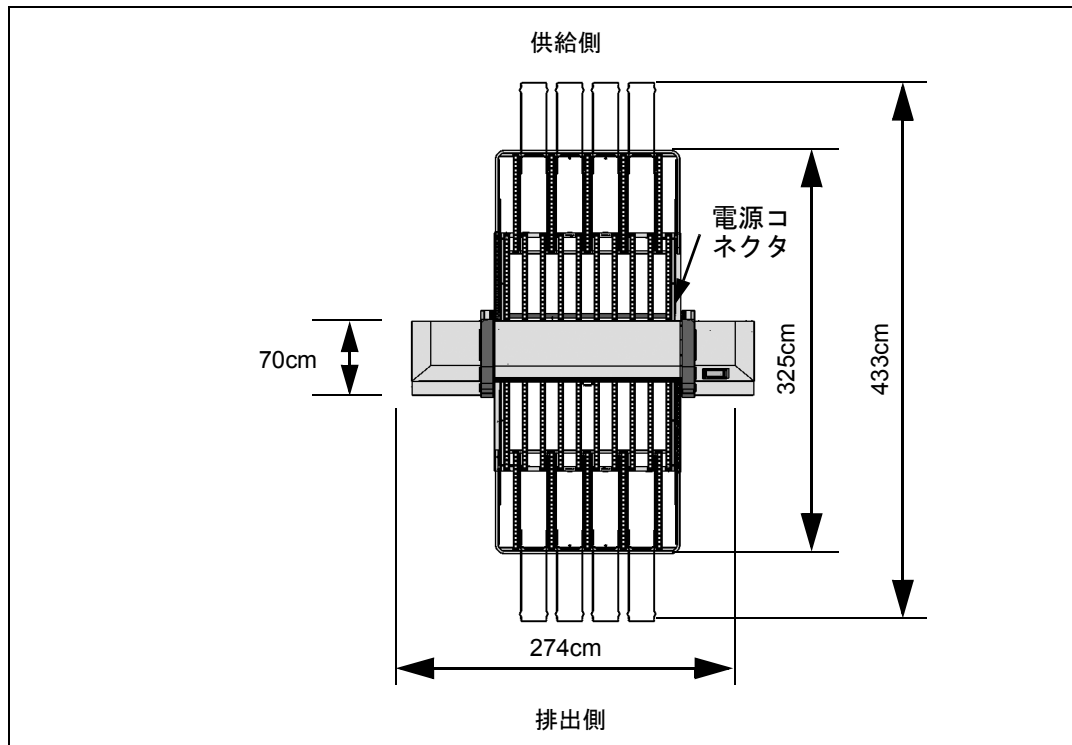
## 設置スペースの要件

プリンタの四方に十分なスペースを確保します。これは、インクの取り付けと取り外し、メディアのセットと取り出し、および制御パネルの操作をスムーズに行えるようにするためです。

硬質のカット紙印刷の場合、メディアのセット、プリンタの操作、およびメディアの取り出しを行う際に、メディア置き場 (パレットまたはトレイ) 間をオペレータが移動します。そのために必要なスペースを調べ、そのスペースを確保する必要があります。カット紙は、プリンタの供給側から供給します。

電源コネクタは、インク供給部の近くにありますが、プリンタの用紙供給側から見た場合、左端に位置しています。

詳細については、次の図および4ページの表2「仕様」に示す寸法を参照してください。



## インクとメディアの扱い

プリンタの近くに、メディアとインクを保管しておくスペース、および、印刷済みメディアを揃えて梱包し、発送または配布できるようにするためのスペースを確保する必要があります。最高の印刷品質を得るためには、メディアとインクは、プリンタ本体と同様、温度と湿度が調整された場所に保管する必要があります。

カット紙は平らな場所に保管してください。また、使用されるまでに長期間保管しないようにします。カット紙に反りが生じると、印刷時にキャリッジが用紙にぶつかったり、用紙送りが適切に行われなくなるおそれがあります。

硬質の合成紙を使用すると静電気が発生しやすいので、場合によっては ESD (Electrostatic Discharge: 静電気放電) 軽減対策を講じる必要があります。たとえば、室内の相対湿度を上げる、または保管している用紙を銅箔シートで覆う、といったことです。

## 変質しやすい紫外線硬化型インク

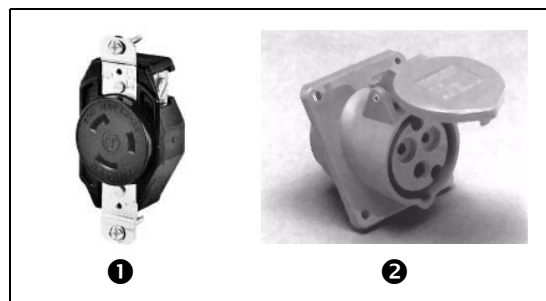
大判印刷に使用される他のインクと異なり、紫外線硬化型インクには品質保持期間が短いという特徴があります。そのため、外箱に記載されている品質保持期限までにインクを使い切るようにしてください。

表 2 : 仕様

寸法 (組み立て後)	高さ : 奥行き (収納するためにトレイをたたんだ状態) : 奥行き (トレイを起こして最大限に伸ばした状態) : 奥行き (トレイを起こして伸ばし、ワイヤ サポートを伸ばした状態) : 幅 :	145cm 70cm 325cm 433cm 274cm
重量 (組み立て後)	263kg	
作動条件	温度 : 相対湿度 :	20 ~ 30°C 20 ~ 80% (結露なし)
保管条件	温度 : 相対湿度 :	-34 ~ 49°C 10 ~ 80% (結露なし)
規格に対する適合性	安全性 : 漏洩電波規制 : ノイズ耐性 :	CE、UL、c-UL FCC-A、CE CE
電力	使用電力 : 200 ~ 240VAC、単相、50/60Hz、最大 12A	

必要な電気回路 :

- ① 220VAC、20A、NEMA L6-20R 壁埋込型レセプタクル (北米および日本)
- ② 220VAC、16A、単相、IEC 60309 壁レセプタクル (欧州)



北米 : 建物に標準の 3 相電力が供給されている場合、このプリンタではそのうち 2 相だけが使用されます。つまり、建物内の 3 相電力変圧器の負荷が不平衡になる可能性があります。電気技術者に問い合わせ、建物内でこの不平衡負荷を受容できるかどうかを確認してください。

必要な電源ケーブル (プリンタに付属) :

部品番号 : 0501506 (北米、UL/CSA 承認済み)、長さ 2.5m

部品番号 : 0602360 (欧州共通)、長さ 2.5m

プリントヘッド真空システム用補助電力 (オプション)

付属の 24V の DC 電源と汎用アダプタを使用して、真空 / 圧力部品にある 24VDC ジャックを次のいずれかに接続します。

1. UPS: 顧客側で用意する無停電電源装置。100 ~ 240VAC、50/60Hz、最小電力は 15W。バッテリーを搭載しており、停電時に真空システムに電力を供給します。
2. 壁付電源コンセント : 100 ~ 240VAC、50/60Hz。保守作業のためプリンタの電源を切る必要がある場合、真空システムに一時的に電力を供給します。

# 安全性に関する情報

- 紫外線光：紫外線硬化ランプから強力な紫外線が照射されます。安全シールドをすべて取り付けた状態で運用し、オペレータの目と皮膚を保護する必要があります。製造元の指示どおりに使用されている場合、保護めがねや防護服を身に付ける必要はありません。
- 機械に関する危険：(a) キャリッジおよびメディア経路に指を近づけないようにします。(b) プリンタを持ち上げるには、フォーク リフトを使用します。(c) 供給トレイおよび排出トレイに載っているメディアが、ラベルに記載されている重量を超えないようにします。
- インク：(a) MSDS (Material Safety Data Sheet: 化学物質安全性データ シート) に記載されている、インクの取り扱いに関する安全性指針を読んでこれに従います。また、現行法で義務付けられているとおり、作業場所に MSDS を掲示します。(b) インクが皮膚や目に接触しないようにします。(c) 全体換気と局所換気を十分に行います。(d) インクから発生する気体を吸い込まないようにします。(e) 空気が過度に汚染されている場合、マスクの装着が必要になる場合があります。なお、インクに使用されているどの物質も、OSHA (Occupational Health and Safety Administration: 米国労働安全衛生局)、NIOSH (National Institute for Occupational Safety and Health: 米国国立労働安全衛生研究所)、または ACGIH (American Conference of Governmental Industrial Hygienists: 米国産業衛生専門家会議) が定める暴露基準を超えていません。
- 電気：電源スイッチをオフにしても、プリンタに電力が供給されていることがあります。プリンタへの電力供給を完全に停止するには、電源コンセントから電源ケーブルを抜く必要があります。
- オゾン：紫外線硬化ランプから照射される強力な紫外線は、酸素と反応し、オゾンが発生させます。オゾンが特に発生しやすいのは、照射が開始される時です。プリンタは風通しの良い場所で稼働させてください。これにより、頭痛、疲労、上気道乾燥などの軽微な悪影響を抑えることができます。空気の動きが通常の状態であれば、オゾンと新鮮な空気が混じり合い、オゾンが酸素に戻ります。
- 有害廃棄物：プリンタの電子部品には、リチウム電池が使われています。リチウム電池の交換方法が不適切な場合、破裂する危険があります。バッテリーの交換は、必ず認定保守担当者が行ってください。また、同一または同等のバッテリーと交換してください。リチウム電池の処分は、国または地方自治体が定めている固形廃棄物関連の規定に従ってください。

© Copyright 2007, 2008 Hewlett-Packard Development Company, L.P.

この文書の内容は、予告なく変更されることがあります。HP の製品およびサービスに対する保証は、その製品またはサービスの添付文書に明示的に記載されている範囲に限られます。記載されている範囲を超えての保証はありません。また、本書に技術上または編集上の誤記または情報の欠落があったとしても、HP はその責任を負わないものとします。

Printed in the US.